

海外展開 企業特集

BOB会員で海外展開を積極的に進めている企業を紹介します。



メトロールの「精密位置決めスイッチ」

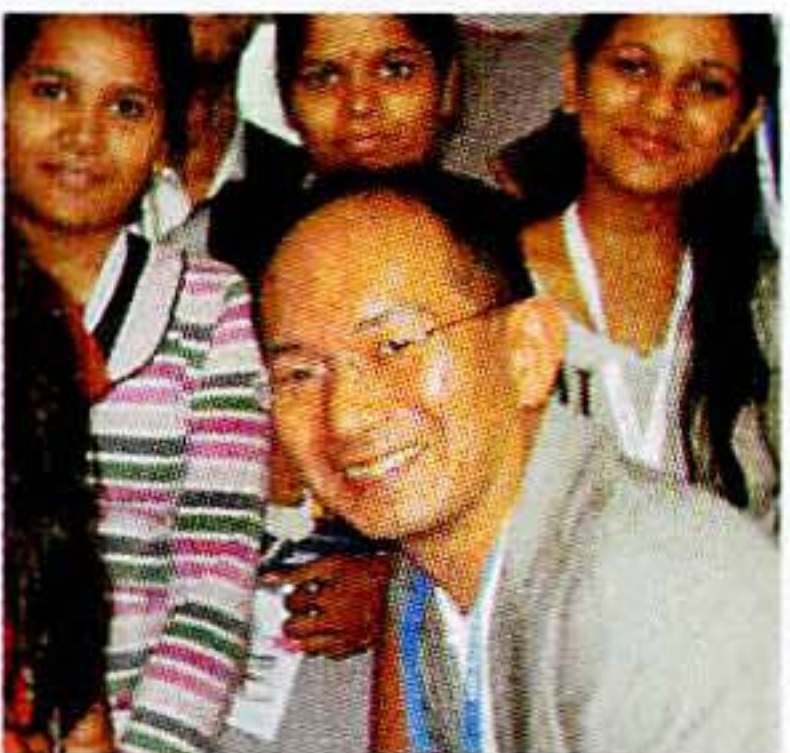
―IT駆使して世界と直接取引

工作機械用の精密位置決めスイッチを世界で初めて考案したメトロール（立川市、松橋卓司社長、042・527・3278）は、ITを活用した積極的な海外戦略を展開している。

同社は、300万回使用してもズレは1ミ（1000分の1ミ）以下という「超小形高精度PTータッチスイッチ」など、世界に誇る高性能な製品を生産。産業機械の小型化、性能向上、コストダウンには欠かせない存在だ。

英語、中国語、ドイツ語によるホームページを公開する一方、20カ国以上で展

示会を開催するなど、世界に向けた情報発信、市場開拓に意欲的に取り組んできた。最大の強みはITを駆使し、立川市の本社工場で生産した製品を、商社を介さ



上：インドの展示会に出向いた松橋社長
左：ドイツの展示会で人気を呼んだメトロールのブース



ずに即日決済。1個から世界中の顧客に1週間以内にダイレクトで届けるシステムを作り上げていることだ。海外での売り上げは全体の約6割を占める。2012年度の経済産業省の「中小企業IT経営力大賞」では大賞を受賞している。

松橋社長が特に重点を置いているのは、今後の可能性を秘めた東南アジア市場。機械メーカーの多い中国とインドに直営支社を開設し、販売の拠点にしている。

また社員からの提案で、SNSの「フェイスブック」も活用。サイト登録者は世界中に1万人を超え、新たなユーザーの掘り起こしに一役買っている。